

各 位

上場会社名 共英製鋼株式会社  
代表者 代表取締役社長 廣富 靖以  
(コード番号 5440)  
問合せ先責任者 本社経営企画部長 杉山 隆彰  
(TEL 06-6346-5221)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年7月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ● 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	384,000	13,500	12,500	8,000	184.08
今回修正予想(B)	358,000	11,300	11,000	7,000	161.07
増減額(B-A)	△26,000	△2,200	△1,500	△1,000	
増減率(%)	△6.8	△16.3	△12.0	△12.5	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	292,719	8,819	10,549	6,322	145.48

#### 修正の理由

第3四半期連結会計期間以降(下期)、国内鉄鋼事業については、鉄筋コンクリート造の着工床面積は増加傾向にあり一部に明るさが見られるものの、今後の景気動向の不透明感から国内鋼材需要は様子見横ばいで推移するものと思われます。大幅な円安やインフレの影響を受け、電力費をはじめとした製造コスト上昇が必至であります。鉄スクラップ価格が当初想定を下回る水準で推移することが予想され、売買価格差は当初計画よりも拡大し、業績は前回予想を上回る見通しです。

海外鉄鋼事業については、第3四半期連結会計期間以降(7～12月)、ベトナム拠点は、銀行の貸出規制などによる建設需要の減速や競合環境の激化によって、製品価格の維持が困難となる中、コストが高止まりし、業績は大幅に悪化する見通しです。北米拠点は、高インフレの継続や金利の引き上げなど景気後退リスクが懸念されますが、旺盛な建設需要が続くと思われ、業績は引き続き堅調に推移する見通しです。海外鉄鋼事業全体としては、第3四半期連結会計期間以降の業績は前回予想を大きく下回る見通しです。

なお、10月11日に山口事業所にて発生した火災事故により、鉄鋼製品の生産量・出荷量および産業廃棄物の処理量が減少する見通しであり、連結業績予想に一定程度の影響額を織り込んでいます。

また、海外拠点における為替変動による外貨建借入の評価差損や金利上昇の影響も同様に織り込んでいます。

このような情勢を踏まえ、2022年7月29日の「2023年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を変更いたします。

以上